



Title	<紹介>野田尚史・高山善行・小林隆編『日本語の配慮表現の多様性—歴史的変化と地理的・社会的変異—』
Author(s)	小林ベター, ダニエル
Citation	語文. 2015, 104, p. 74-74
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70962
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

野田尚史・高山善行・小林隆編『日本語の配慮表現の多様性―歴史的变化と地理的・社会的変異―』

ダニエル・小林ベター

本書は配慮表現（相手に悪い感情を持たれないようにするための表現）についての、専門分野の異なる十六人による共同研究である。論文集という形式になっているが、それぞれが第一部で示された研究方法の枠組みに添って書かれているため、強い一貫性がある。構成は次の通りである。

第一部 配慮表現の多様性の概要

配慮表現の多様性をとらえる意義と方法 野田尚史／配慮表現の歴史的变化 高山善行／配慮表現の地理的・社会的変異 小林隆

第二部 古代語の配慮表現

奈良時代の配慮表現 小柳智一／平安・鎌倉時代の依頼・禁止に見られる配慮表現 藤原浩史／平安・鎌倉時代の受諾・拒否に見られる配慮表現 森野崇／平安・鎌倉時代の感謝・謝罪に見られる配慮表現 森山由紀子

第三部 近代語の配慮表現

室町・江戸時代の依頼・禁止に見られる配慮表現 米田達郎／室町・江戸時代の受諾・拒否に見られる配慮表現 青木博史／室町・江戸時代の感謝・謝罪に見られる配慮表現 福田嘉一郎／明治・大正時代の配慮表現 木村義之

第四部 現代語の配慮表現の地理的・社会的変異

現代語の依頼・禁止に見られる配慮表現 岸江信介／現代語の受諾・拒否に見られる配慮表現 尾崎喜光／現代語の感謝・謝罪に見られる配慮表現 西尾純二

第五部 現代語の配慮表現の多様性

談話の構成から見た現代語の配慮表現 日高水穂／携帯メールにみられる配慮表現 三宅和子

敬語のような文法形式の他に、「すみませんが」などの前置き表現、更にメールなどに絵文字や顔文字も含まれるが、本書はこれらのような多様な表現を取り上げる方針となっている。コーパス調査が不可能な対象に対して、文献やロールプレーにおける談話とその社会的文脈の緻密な読みに基づく語用論的なアプローチがとられている。資料的制約もあって、配慮表現の研究にはこれまで通時的観点はほとんど導入されてこなかったが、本書では第二部より第四部にかけて、配慮表現の歴史的变化が取り上げられている。地域差や社会的地位の差による表現の変異も時代毎に指摘されている。第五部は配慮表現の幅広い変異に注目し、会話と携帯メールのロールプレーを資料として談話参加者の年齢差や性差、出身地の差、親疎の差など様々な視点から用法を分析している。

今後の更なる研究を促す刺激的な一冊である。

（くろしお出版、二〇一四年六月、三二六頁、三、七〇〇円）

（だにええる・こばやしべたー 本学大学院博士後期課程）